

# パワーハラを「社員のため」と なんとも呆れた連携プレイ

◇ 3

2011. 9. 18

JR東海労東二運分会

## 乗務員のみなさん

組合：8月の営業科訓練の伝達の中で、不適切な  
発言があったようですが。

会社：発言で。よくわかりませんが。

… 途中略 …

組合：撤回させてください。

会社：撤回の必要はないと思っています。

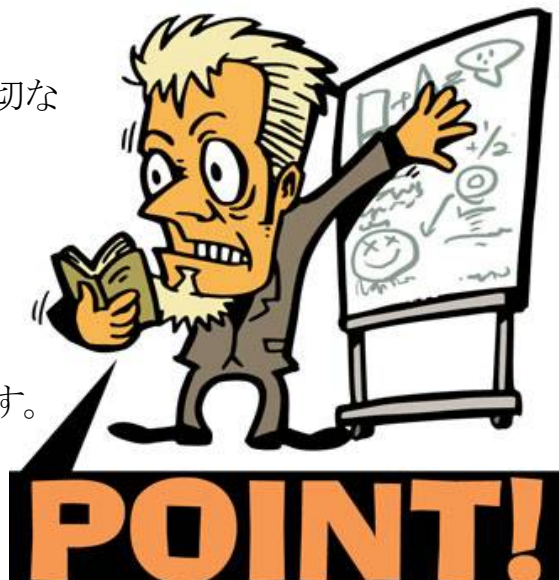
組合：撤回して下さい。社員を脅す言い方です。

会社：むしろ社員のためです。

組合：社員のため？

会社：「そういう、調整するということは、

大きなことに繋がるので、絶対にしないように」。これは社員のためですよ。



これは、JR東海労新幹線地本が幹鉄事に行った、8月の営業訓練の一部を撤回するように申し入れ、抗議した時のやり取りの一部です。

訓練で、「売上金を締め切時に調整しないように」という伝達がありましたが、この時、「伝達」とどまらず、懲戒解雇にもなる行為なので絶対しないように、と念押しをされたのです。私たちは、売上金の調整をしてはいけないことも懲戒処分を持つ意味も知っています。しかし、訓練のなかで懲戒処分や懲戒解雇ということを出して「伝達」するのは訓練とは認められません。訓練の場を悪用したパワーハラスメントです。

あらかじめ、運輸所営業科から連絡を受けていた幹鉄事は、営業科と連携のもとに、「これは社員のためです」と開き直ったのです。見事な連携プレイとしか言いようがありません。



## 乗務員のみなさん

私たちJR東海労は繰り返しています。訓練は試験をする場所ではありません。まして、社員を脅すところでもありません。この、常軌を逸した営業科の姿勢はサービスの低下や安全を脅かすことにつながりかねません。

力でねじ伏せようという、傲慢な社員管理を許さず、一人ひとりが声を出して皆の力で、東二輸の職場をモットモット 働きやすくしていきましょう

「パワーハラも 連携プレイで 口ぬぐい」 C D 頑爺